

2021年度 第2四半期 決算説明会

- 1 2021年度 第2四半期（上半期）決算
- 2 2021年度 業績予想

参考資料

サステナビリティ推進、W&C事業本部の体制強化、
投融資の取り組み、東証新市場区分選択、TOPICS、
グループ概要、セグメント別事業内容、連結経営指標等

2021年11月26日
タツタ電線株式会社

**本資料における将来の予測等に関する各記述は、
当社が現時点で入手可能な情報に基づく判断や仮定によるものであり、
リスク及び不確実性が含まれております。
したがって、実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。**

**本資料に関するお問い合わせ先
タツタ電線株式会社
経営企画部**

**TEL:06-6721-3011 FAX:06-6726-2300
<https://www.tatsuta.co.jp/>**

概略

- ✓ 2021年度第2四半期（上半期）決算は、前年同期比で売上高＋8.1%の296億円、営業利益▲15.3%の17億円となり、増収減益。
- ✓ 2021年7月27日に公表した2021年度通期業績予想を修正。前回業績予想比で売上高▲5.4%の617億円と減収、営業利益は36億円を修正せず。
- ✓ 2021年度の年間配当金を対前年同額、1株あたり18円（中間9円、期末9円）を予想。（配当性向42%）
- ✓ ワイヤー&ケーブル事業本部の組織改正、機器用国内2社営業のタツタへの統合により事業総合力を強化。
- ✓ 2025長期ビジョンの実現に向けたスタートアップへの投資・M&A等について、1件の国内スタートアップ企業への投資を実行。
- ✓ 東京証券取引所の新市場区分において「プライム市場」を選択。

1. 2021年度第2四半期（上半期）決算

- 1. 上半期決算（要点）
- 2. （対前年同期）2021年度上半期決算
- 3. （対前年同期）上半期売上高、営業利益増減要因
- 4. 貸借対照表、キャッシュフロー計算書

2. 2021年度業績予想

- 1. 2021年度業績予想（要点）
- 2. 2021年度業績予想 主要条件
- 3. 2021年度業績予想（対2020実績）
- 4. 2021年度業績予想
売上高、営業利益増減要因（対2020実績）
- 5. 2021年度業績予想 資本的支出、減価償却費
- 6. 配当
- 7. 2021年度下期 主要事業課題

参考資料

- (1)サステナビリティ推進
- (2)W&C事業本部の体制強化
- (3)投融資の取り組み
- (4)東証新市場区分選択
- (5)TOPICS
 - ①電磁波シールドフィルム ロードマップ
 - ②高シールド・高屈曲シールドフィルム
SF-FTシリーズ
 - ③導電性金属ペースト ロードマップ
 - ④医療機器部品・材料 ロードマップ
 - ⑤DX推進
- (6)その他
 - ①グループ概要
 - ②セグメント別事業内容
 - ③連結経営指標等

1. 2021年度第2四半期（上半期）決算

- 1. 上半期決算（要点）**
- 2. （対前年同期）2021年度上半期決算**
- 3. （対前年同期）上半期売上高、営業利益増減要因**
- 4. 貸借対照表、キャッシュフロー計算書**

1-1. 上半期決算（要点）

電線・ケーブル事業：電線販売量の減少はあるものの銅価上昇、機器用電線事業の需要回復により増収増益。

電子材料事業：機能性フィルムのユーザーでの在庫調整・半導体不足による影響により減収減益。

成長追求事業（機能性ペースト事業（電子材料セグメント）・医療機器部材事業（その他セグメント））：
新製品開発は進展もコロナ禍影響のもとで需要業界での開発活動の停滞により販売立ち上がりに遅れ。

	売上高（前年同期比）	営業利益（前年同期比）
（上半期決算）	29,604百万円（+8.1%）	1,704百万円（▲15.3%）
電線・ケーブル事業	19,331百万円（+17.9%）	407百万円（+53.1%）
電子材料事業	9,292百万円（▲8.3%）	1,646百万円（▲22.6%）
その他事業	994百万円（+13.9%）	6百万円 （前年同期は 43百万円の損失）

1-2.（対前年同期）2021年度上半期決算 主要条件

	2020年度 上期	2021年度 上期	前年 同期差異	備考
為替（円/USD）	107	110	+3	収益影響軽微 ・インフラ電線は国内向け ・機能性フィルムは円建が大半
電気銅建値（千円/t）	675	1,092	+417	前年度期初から大幅上昇。 電線・ケーブル製品売上高、原料代 の両方に影響（収支には原則中立）
電線販売量伸び率 対前年同期比	▲4.9%	▲8.3%	－	新型コロナウイルス感染症影響から 回復基調にあるものの、比較的堅調 だった前年同期の販売量を下回る
機器用電線売上 電線・ケーブルセグメント内数	24億円	35億円	+11億円	一部向け先での需要回復
機能性フィルム販売量伸び率 対前年同期比	+3.2%	▲10.2%	－	ユーザーでの在庫調整・半導体不足 による影響等

1-2. (対前年同期) 2021年度上半期決算

2021年度第2四半期（上半期）決算

(単位：百万円)

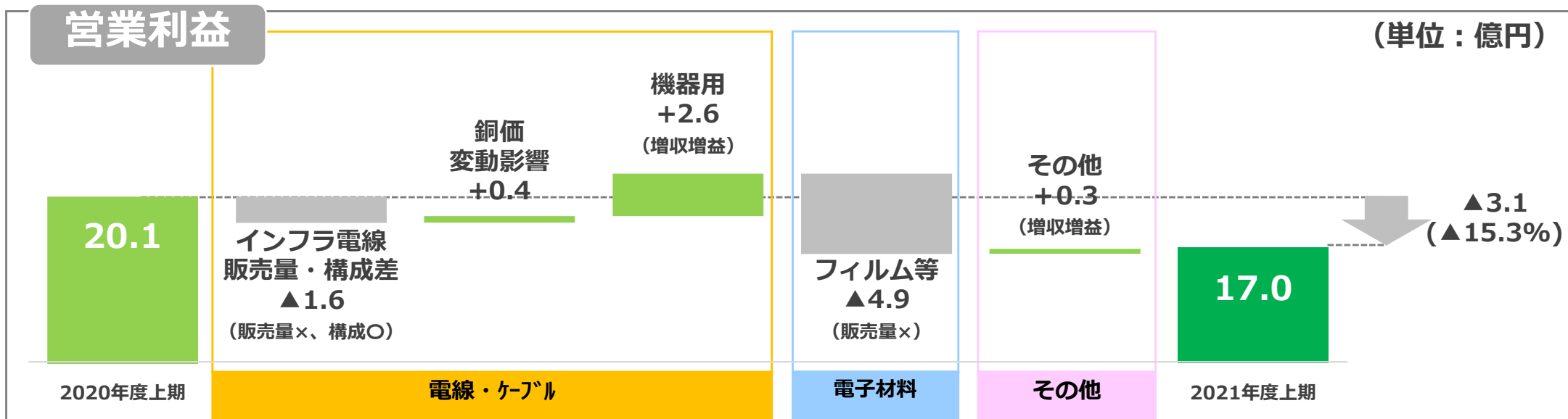
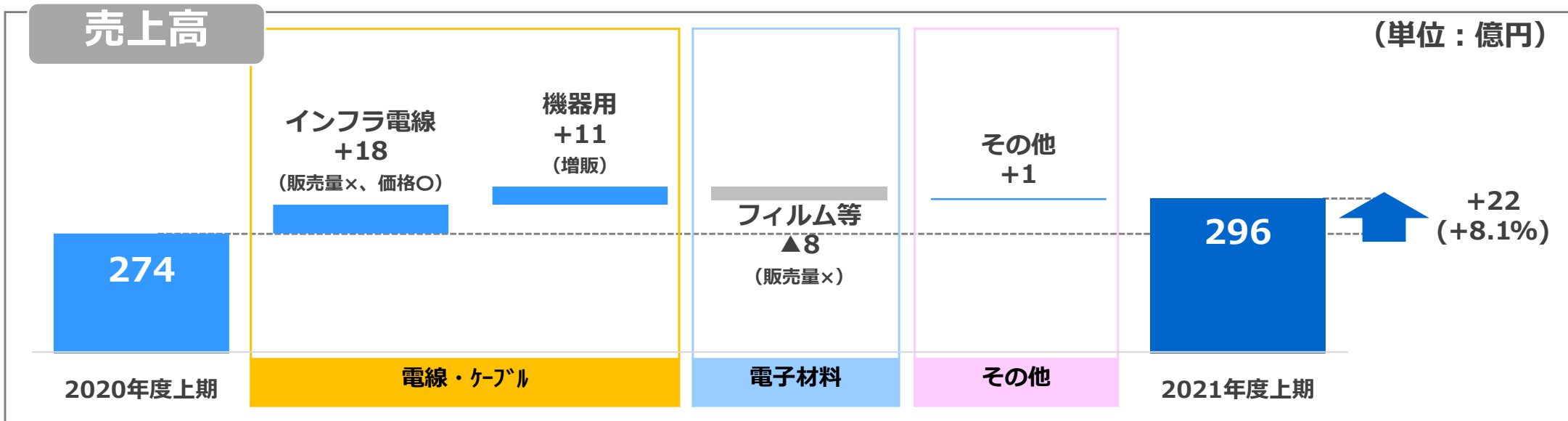
		2020年度上期	2021年度上期	前年同期差異	備考
	電線・ケーブル	16,399	19,331	+ 2,932	
	電子材料	10,130	9,292	▲ 837	
	その他 (注)	857	979	+ 122	
売上高		27,386	29,604	+ 2,217	次頁参照
	電線・ケーブル	266	407	+ 141	
	電子材料	2,128	1,646	▲ 481	
	その他 (注)	▲ 382	▲ 349	+ 34	
営業利益 (営業利益率)		2,011 (7.3%)	1,704 (5.8%)	▲ 307 (▲ 1.5%)	次頁参照
経常利益		2,032	1,830	▲ 201	
特別損益		▲ 8	▲ 7	+ 1	
当期純利益		1,460	1,334	▲ 126	
一株当たり純利益 (円)		23.64	21.60	▲ 2.04	
一株当たり配当 (円)		9.00	9.00	—	

(注) その他事業セグメントと全社調整の合計。

1-3.（対前年同期）上半期売上高、営業利益増減要因

電線・ケーブル：電線販売量の減少はあるものの銅価上昇、機器用電線事業の需要回復により増収増益。

電子材料：ユーザーでの在庫調整・半導体不足影響に伴うフィルム販売量減により減収減益。

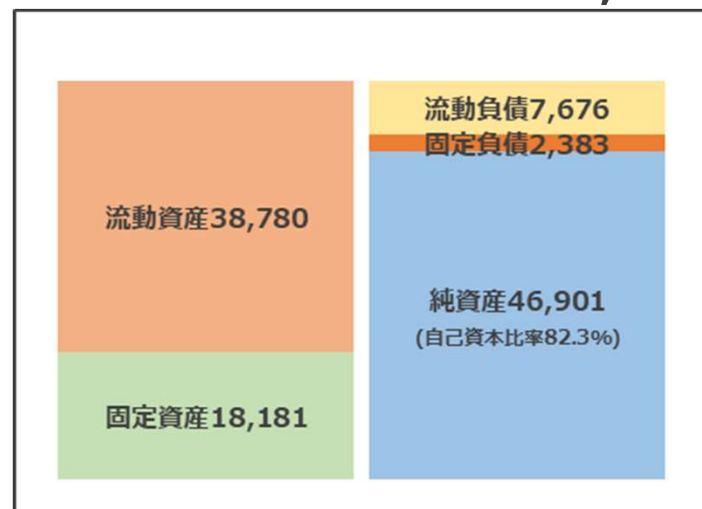


1-4. 貸借対照表、キャッシュフロー計算書

総資産規模は570億円台、純資産は470億円台に増加。自己資本比率は前年度末の水準を維持。
上半期の営業C Fは▲13億円。銅価格上昇による運転資本の増加。

【貸借対照表】

2021年3月末 総資産56,961

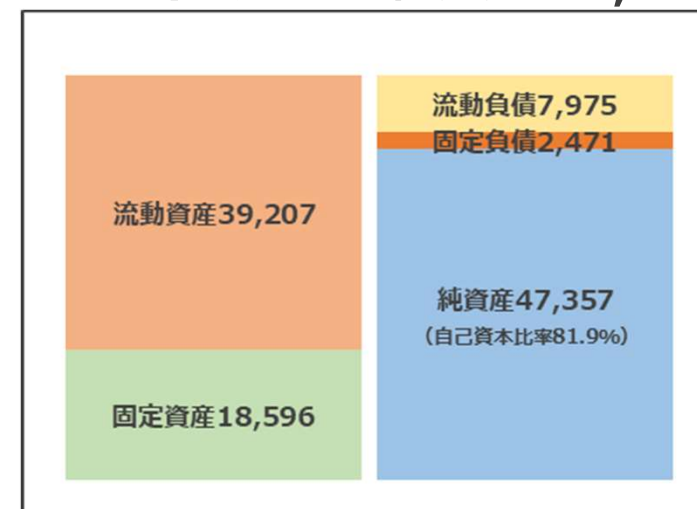


+842



(単位：百万円)

2021年9月末 総資産57,804



【キャッシュフロー計算書】

(単位：百万円)

	2021年度上期	備考
営業CF	▲1,279	運転資本増41.5億円
投資CF	1,721	
設備投資	▲1,321	
その他	3,042	短期貸付金減31.5億円
財務CF	▲556	
CF合計	▲114	
(減価償却)	(930)	

2. 2021年度業績予想

- 1. 2021年度業績予想（要点）**
- 2. 2021年度業績予想 主要条件**
- 3. 2021年度業績予想（対2020実績）**
- 4. 2021年度業績予想**
 - 売上高、営業利益増減要因（対2020実績）**
- 5. 2021年度業績予想 資本の支出、減価償却費**
- 6. 配当**
- 7. 2021年度下期 主要事業課題**

2-1. 2021年度業績予想（要点）

電線・ケーブル事業：通信電線事業、機器用電線事業の市況の回復により販売量が増加し増収増益。

電子材料事業：機能性フィルムのユーザーでの在庫調整・半導体不足による影響により減収減益。

成長追求事業（機能性ペースト事業（電子材料セグメント）・医療機器部材事業（その他セグメント））：

新製品開発は進展もコロナ禍影響のもとで需要業界での開発活動の停滞により販売立ち上がりに遅れ。

	売上高（前期比）	営業利益（前期比）
（年度業績予想）	61,700百万円（+13.2%）	3,600百万円（+1.9%）
電線・ケーブル事業	40,600百万円（+23.0%）	1,050百万円（+156.7%）
電子材料事業	18,700百万円（▲4.6%）	3,200百万円（▲16.1%）
その他事業	2,400百万円（+23.3%）	100百万円（+156.4%）

2-2. 2021年度業績予想 主要条件

2021年度業績予想

	2020年度実績			2021年度業績予想			年度差異
	上期	下期	年度	上期実績	下期予想	年度予想	
為替 (円/USD)	107	105	106	110	110	110	+4
電気銅建値 (千円/t)	675	864	770	1,092	1,000	1,046	+276
電線 販売量伸び率 対前年同期比	▲4.9%	▲19.2%	▲12.2%	▲8.3%	+16.3%	+3.3%	-
機器用電線売上 電線・ケーブル セグメント内数	24億円	29億円	53億円	35億円	39億円	74億円	+21億円
機能性フィルム 販売量伸び率 対前年同期比	+3.2%	+9.4%	+6.1%	▲10.2%	▲5.6%	▲8.0%	-

2-3. 2021年度業績予想（対2020実績）

（単位：百万円）

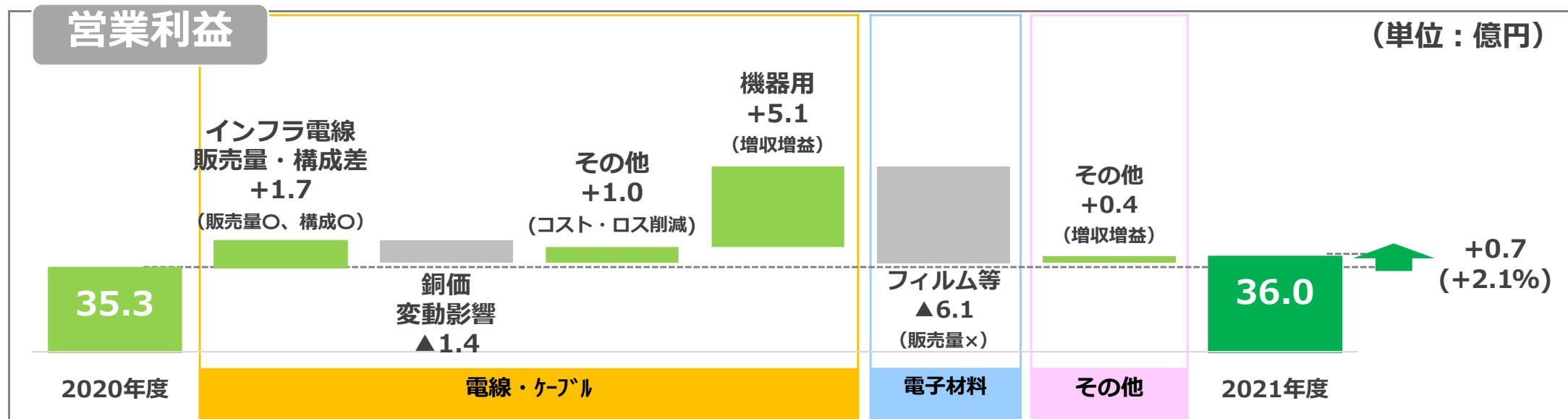
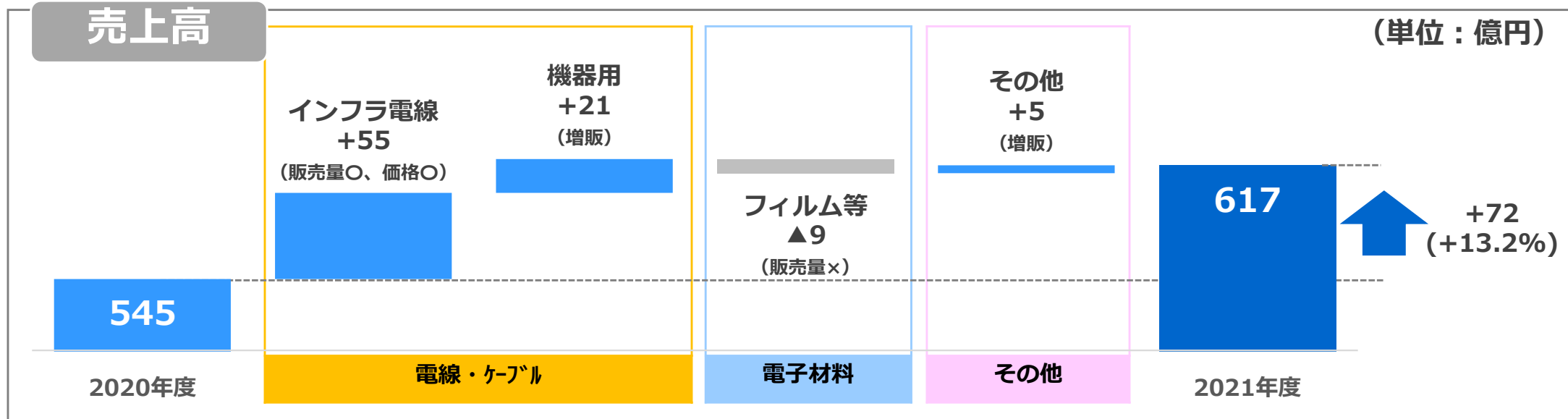
		2020年度実績			2021年度予想			年度差異
		上期	下期	年度	上期実績	下期予想	年度予想	
	電線・ケーブル	16,399	16,608	33,007	19,331	21,268	40,600	+7,592
	電子材料	10,130	9,464	19,595	9,292	9,407	18,700	▲895
	その他（注）	857	1,058	1,914	979	1,421	2,400	+486
売上高		27,386	27,130	54,516	29,604	32,095	61,700	+7,183
	電線・ケーブル	266	143	409	407	642	1,050	+640
	電子材料	2,128	1,685	3,813	1,646	1,553	3,200	▲613
	その他（注）	▲382	▲308	▲690	▲349	▲301	▲650	+40
営業利益		2,011	1,521	3,532	1,704	1,895	3,600	+67
（営業利益率）		（7.3%）	（5.6%）	（6.5%）	（5.8%）	（5.9%）	（5.8%）	（▲0.7%）
（ROA）				（6.5%）				
経常利益		2,032	1,597	3,629	1,830	1,869	3,700	+70
特別損益		▲8	▲4	▲11	▲7	▲120	▲127	▲116
（ROE）				（5.8%）				
当期純利益		1,460	1,185	2,645	1,334	1,315	2,650	+4

（注） その他事業セグメントと全社調整の合計。

2-4. 2021年度業績予想 売上高、営業利益増減要因（対2020実績）

2021年度業績予想

電線・ケーブル：通信電線事業、機器用電線事業の需要回復、銅価上昇で増収。両事業の増販およびコスト・ロス削減等により増益。
電子材料：上半期同様、ユーザーでの在庫調整・半導体不足影響に伴うフィルム販売量減により減収減益。



2-5. 2021年度業績予想 資本的支出、減価償却費

各事業の拡大を見据え、事業基盤整備・新規事業に向けた積極投資を計画。

(単位：百万円)	2020年度実績	2021年度予想
資本的支出	1,947	注) 3,080
減価償却費	1,770	2,060

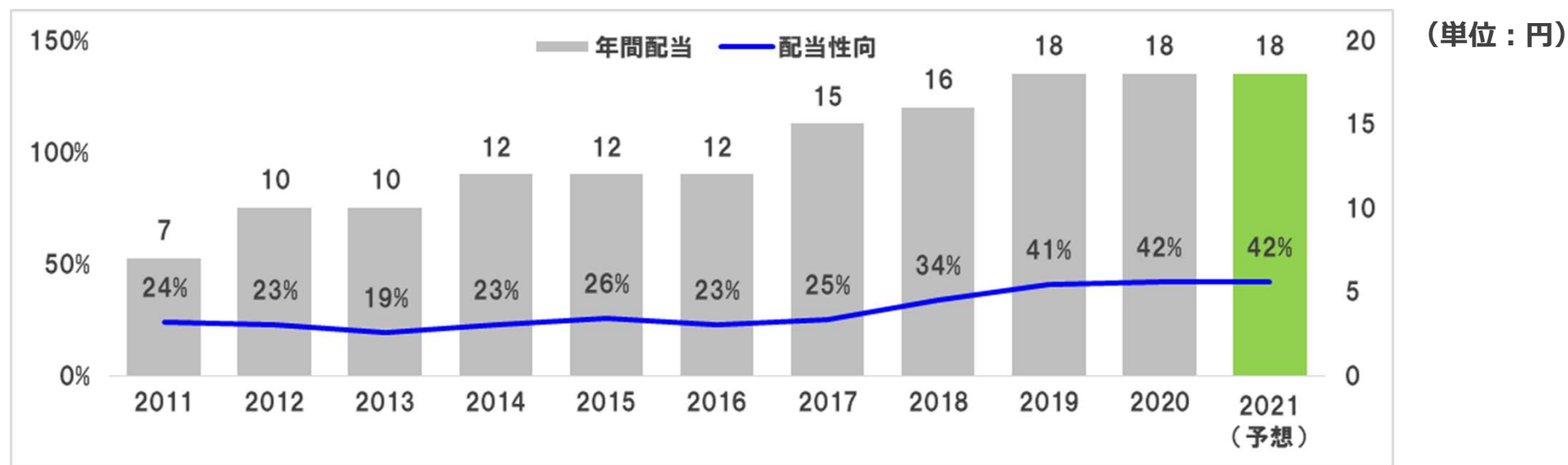
注) 留保枠（足元財務体質面から第2期中計期間に上表外で支出可能と考える投資枠）支出含まず

2021年度 主要投資項目

■ 電線事業基盤強化・合理化等：	2 億円
■ 電線事業各拠点環境整備対応：	6 億円
■ 機能性フィルム市場対応・開発投資等：	2 億円
■ センサー&メディカル製品開発投資等：	1 億円
■ 電子材料事業各拠点環境整備対応：	4 億円
■ ESG関連投資等：	1 億円
■ DX推進関連投資等：	2 億円
■ S U、周辺事業開発投資等（枠）：	6 億円

増益基調への復帰計画のもと安定的な配当継続を重視し、年間配当金18円/株を継続。

	2020年度	2021年度予想
年間配当金	18円/株 (中間9円、期末9円)	18円/株 (中間9円、期末9円)
配当性向	42%	42%



当社配当に関わる基本方針（参考）

配当性向30%を目安としつつ、安定的な配当を継続することを基本とし、各年度の剰余金の配当等の決定は、業績の動向、設備投資の見通し等を総合的に勘案したうえで決定することを基本方針とする。

2-7. 2021年度下期 主要事業課題

当社の提供する製品・サービスはIoT、AI、5G通信の進展、医療の高度化等に伴い必要とされるものであり、中長期的には成長機会あるとの認識は変わらない。

【事業課題（全体）】

- 感染症対応・DX推進継続
- 中長期的成長の観点でESG対応の各視点にて事業運営体制の整備・強化
- M&Aを含む新規事業探索を継続し積極投資を実行

【事業課題（個別）】

- ◆ ワイヤー & ケーブル事業本部体制による事業強化策の推進
 - ・ カーボンニュートラル関連の成長分野拡大・新規参入
 - ・ コスト競争力強化施策の推進
 - ・ 本部内営業体制の改革推進（2022年7月実施）
 - 機器用電線事業国内子会社の営業部門を本体に集約
（子会社については生産に特化して競争力強化に集中）
 - 営業体制をインフラ電線部門・産業用電線部門に改編
 - 支店体制の見直しによる大阪・東京拠点への統合
- ◆ フィルム事業の新分野市場開拓とコスト競争力強化推進
- ◆ 成長追求事業（ペースト事業・医療機器部材事業）の市場展開推進
- ◆ プライム市場移行対応

**本資料における将来の予測等に関する各記述は、
当社が現時点で入手可能な情報に基づく判断や仮定によるものであり、
リスク及び不確実性が含まれております。
したがって、実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。**

**本資料に関するお問い合わせ先
タツタ電線株式会社
経営企画部
TEL:06-6721-3011 FAX:06-6726-2300
<https://www.tatsuta.co.jp/>**